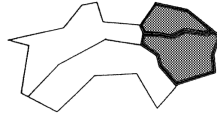




# 電機連合

# 東四国地協



No.49

電機連合東四国地方協議会

発行責任者：西川 啓二

編集責任者：横山 一男

〒763-8516 香川県丸亀市蓬萊町8番地

(三菱電機労組丸亀支部 内)

TEL:0877-24-7599 FAX:0877-24-7596

E-mail: denki.higashisikoku@jeiu.or.jp

ホームページ: <http://www.jeiu.jp/higashisikoku/>

## 迎春

## 2013年 年頭のご挨拶



電機連合東四国地方協議会  
議長 西川啓二

新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2012年は、東京スカイツリーの開業・ロンドンオリンピックでの日本選手活躍・ノーベル生理学・医学賞受賞(iPS細胞作製)・巨人軍3年ぶり22度目の日本一など、「日本らしさ」が伺われた一年だったと感じております。資源の無い経済大国として、伝統的な「ものづくり」と「創意工夫」にける粘りと熱意によって、それぞれの分野で偉業や活躍がみられたことは大変喜ばしいことです。

一方、東日本大震災後の被災地の復旧・復興は未だ見通しが立っておりません。震災時の「絆」という国民の思いは途切れることなく継続させ、一人ひとりが「今できる事は何か」「今やらなければならないことは何か」という前向きな気持ちが大切です。被災地の復旧・復興には長い年月を要しますが、日本国の復活は被災地の復興無しでは考えられません。そして、復興には生活基盤の整備やライフラインの確立が不可欠ですが、私たちは東北復興に大いに役立つ「電機産業の担い手」であり、社会貢献を自負とした志を持つべきであると考えます。

次に、昨年末は衆議院の解散により慌しく総選挙が実施され、民主党を中心とした政権は3年3ヶ月で終焉を向かえました。労働界の悲願でありました政権交代も、「ねじれ国会」や「決められない政治」に喘ぎ苦しみながら政治への不信から脱却を図ろうとしましたが、政権としての経験不足と脆弱性は広く国民に明らかとなり大敗を喫しました。しかし、民主党政権時において「日本国の本質的な課題」も明らかになりました。急速な少子高齢化が進む中での税制・社会保障制度改革、赤字国債増への歯止め(適正なプライマリーバランス)、国と地方自治のあり方、議員定数の問題、長引くデフレと景気対

策等々枚挙にいとまなく、過去の政権から「後回し」されてきた課題が大きくクローズアップされました。これからの政権が、「後がない」この日本の国難に対してどのような政権運営と政治力を発揮するのか、皆さんと共に注視していきたいと思えます。

近年の「ものづくり産業」の状況は大変厳しく、長引く円高とデフレや資源の高騰、東日本大震災の影響あつて海外への移転が後を絶ちません。とりわけ電機産業においては、海外メーカーとの競争激化は熾烈を極めており、「日本のものづくりと価値観」が世界に通用しなくなったことを現しています。一時代の「企業間のグローバル競争」は「国策による競争」に移り変わり、日本企業はそれを勝ち抜く経営戦略へのシフトが迫られています。2013年総合労働条件改善闘争では、国内外の経済状況や電機産業の動向、金属他産業や電機労働者の生活実態を考慮し進められますが、これまでの「統一的」な方針による闘争となるのか、あるいは労働組合として「あるべき労使関係」をどう構築していくのか、などの視点も考える必要があります。

今年の7月には、第23回参議院議員選挙が予定されています。昨年より、「石上としお」の支援活動を展開していますが、これまでない非常に厳しい状況であることは間違いありません。電機産業の発展と私たちの生活基盤安定を図るためには、私たちの代表を国会に送ることが重要です。残された期間、一人でも多くのご支援をいただきますよう皆さんのご協力をお願いいたします。

最後に、「一年の計は元旦にあり」ですが、既に皆さんはご計画かと思えますが、有意義で充実した巳年となりますようご祈念しながら、地協としても積極的なコミュニケーション行事を中心に、人と人とのつながり・支えあつ心を大切に活動を追いつつ、「美しい地球・しあわせな暮らし」の実現に向け、それぞれの活動領域に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



## 電機連合 中央執行委員長 有野正治

あけましておめでとうございます。本年が、ご家族を含めた組合員の皆さんにとって幸多い年となることを心からお祈り申し上げます。

昨年1年を振り返りますと、まず年末の衆議院議員選挙で民主党が歴史的惨敗を喫し、再び自公政権が誕生したことが挙げられます。

3年3カ月前の政権交代は何だったのか、という非常に残念な思いを強く持ちますが、国民が民主党政権にNOを突き付けた事実も重く受け止める必要があります。

電機連合公認候補で茨城5区の大畠章宏さんは当選を果たしましたが、大阪区の平野博文さんは残念ながら惜敗という結果でした。組合員の皆さんのご支援に感謝すると共に、改めてお詫び申し上げます。

今回の選挙結果は、これまで我々が進めてきた政策・制度の実現を図る上で大きな困難となることが懸念されると共に、本年7月に実施される参議院議員選挙や、労働組合の政治活動の取り組みにも影響してくると受け止めています。今後、できるだけ速やかに職場の皆さんと具体的な課題について真摯な論議をしていきたいと考えます。

昨年は電機産業にとって厳しい年の連続でした。半導体やデジタル家電の不振、グローバル競争の激化により、2011年度決算で巨額の赤字を余儀なくされた企業も出ました。この1年、その改善に全力で取り組んできましたが、2012年度の業績見通しはさらに厳しさを増しています。

このような厳しい状況にありましたが、2012年春闘では賃金体系を維持し、エイジフリー社会を展望した雇用延長について前進を図ることができました。また電機連合として各省庁へ要請した項目関連では、総額約5,000億円規模の予算（概算要求段階）が計上されるなど大きな成果が表れ、産業政策関係で一定の成果を出すこともできました。



## 電機連合政治顧問 参議院議員 加藤敏幸

電機連合の皆さまに新年のご挨拶を申し上げます。また、日ごろより全国各地で大きなご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年末の総選挙の結果、民主党は57議席の獲得にとどまり、政権の座を自民・公明党に明け渡すことになりました。これにより、労働組合の長年の悲願であった、支持政党による政権運営と「勤労者の生活と雇用を守る」政策の推進は、3年半をもって終えることとなりました。今後、民主党は野党の立場で国政に臨むこととなりますが、電機産業の政策・制度要求を実現させていくためには、今まで以上に多くの労力が必要となります。また、民主党の最大の支援組織である連合に対しても、様々な形で政府・与党から圧力が掛けられ、労働法制も経営者寄りのものへと方向転換していくことになるでしょう。新年早々、こうした厳しい状況に言及することは残念なことですが、「人間万事塞翁が馬」という言葉もあります。逆境に置かれた民主党が、衆・参両院の議員の団結を確認し、労働組合の皆さんとも連携し、そして党の基

迎える本年は電機連合にとって試練の年となりますが、次の3つの課題を中心に運動を推進していきたいと考えます。

第1点が電機産業の再生・復活への取り組みです。半導体やデジタル家電関係の事業は、大きな構造改革に一定のめどがついてきました。2013年度は電機産業全体で何としても業績の黒字化を図ることを労使の命題として、産業政策の強化に取り組みます。そして私たちの雇用を守ることで、生活の安心・安定に結び付けていきたいと考えます。

第2点が2013年春闘の取り組みと統一闘争の強化です。

2013年春闘は、過去に経験の無い2年連続の巨額の赤字という企業実態の中での取り組みであることから、相当厳しい交渉が予想されます。しかし、電機連合の総力で、賃金体系の維持、安定した一時金の確保、全労働者の労働条件の底上げ、底支えに取り組めます。また「統一闘争強化プロジェクト」で論議している統一闘争の強化策の具現化を図るため、労働政策に具体的に着手します。

第3点が参議院議員選挙の勝利と組織強化です。

昨年末の衆議院議員選挙の結果は、働く者にとって大変厳しいものでしたが、これを跳ね返す意味でも7月の参議院議員選挙は非常に大きなものであると言えます。組織的にも政治活動への信頼を取り戻すことが必要であり、電機連合の総力を挙げて「石上としお」当選を果たさなければなりません。

そのためには、職場と組合の信頼関係が基本であることは言うまでもありません。石上としお必勝に向けた取り組みはもとより、日常活動や政治活動の中でしっかりと職場と組合のコミュニケーションを強化することが必要です。

この他にも「第3次エネルギー政策」の策定や組織化の拡大など重要な課題も多くありますが、総力を挙げて取り組んでいきたいと考えます。

以上、新年にあたっての思いを述べましたが、厳しい時ほど心をつなげて活動を推進していきたいと考えます。

組合員ならびにご家族の皆さんのご健勝、ご繁栄を祈念し、年頭の挨拶といたします。

本理念である「消費者」「納税者」「勤労者」の立場に寄り添った政治を目指すならば、必ずや新たな展望が開かれてくるものと信じています。

政権が自公に戻っても、政治が責任を担って解決しなければならない政策課題は数多くあります。社会保障と税の一体改革、国家財政の健全化、不況脱出のための経済・金融政策、東日本大震災被災者の生活再建とエネルギー政策転換、そして尖閣諸島や竹島の領有権など、いずれの政策も選択肢は限られ、調整作業にも大きな困難が伴う課題ばかりです。新政権に対しても、政策の実効力や迅速性が問われることは間違いなく、厳しい視点で政策論議をしていきたいと思っております。

民主党再生の第一歩として、政権運営時の経験を生かし、国民の皆さんの期待に適切かつ適宜に応えていける体制づくりをはかっていく必要があります。そのための次の目標は、本年7月に実施される参議院議員選挙です。現有の議席数を確保して政府・与党への発言力を維持していく必要があります。

現在、電機連合の組織内候補者として、「石上としお」さんが活発に準備活動を進めておられます。何としても石上さんを国会に送り出せるよう、皆さんとともに頑張っていきたいと思っております。





## 地協改革フォーラム協力議員 香川県議会議員 村上豊

新年を迎え新しい気持ちで日常という「生活と働き」の両方を頑張ろうと思います。

組合員の皆様、本年もよろしくお願ひします。昨年は力を合わせ国政選挙に取組みましたが極めて残念な結果に終わりました。それでも政治が我々の生活に直結していることを実感しました。

国際関係、いろいろな国内問題など、どれをとっても緊張する事柄の連続でした。それでも一生懸命に「人を大切にしたい共生社会」の実現を目指して政権運営をしました。この成果は日本のこれからの方向性を少しでも示すことが出来たと思っています。



## 電機連合組織内公認候補 石上としお

新年あけましておめでとうございます。

ご家族、ご友人と共に健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

電機連合加盟組合のみなさまには、昨年1月に開催された第98回中央委員会で本年7月の第23回参議院議員選挙に向けた組織内公認候補としてご確認を頂いた以降、様々なご支援を賜り心から御礼申し上げます。

さて、昨年末に施行されました第46回衆議院議員選挙は、民主党にとって大変厳しいものとなりました。2009年8月の政権交代以降、「コンクリートから人へ」との一貫した考えのもと数々の改革が実行されました。しかし、今までの大きな流れを変えていくには時間を要し、変わらないことに対する不満が政権与党である民主党に寄せられたものと考えあり、政策の考え方や方向性には、共感いただけるものと考えています。

私は昨年、全国の電機連合加盟組合を訪問させていただき、多くのみなさんからお話を伺い、「安心で安定した生活を送れる日本」「私たちの子どもの世代や次の世代が希望を持って暮らせる日本」がみなさんの思いであると強く感じました。そのために私がまずやらなければ

政権が変わっても日本を取りまく問題は変わりません。東日本大震災からの復興はいよいよ目に見える段階にさし掛かりました。グローバル化した経済の中でも働く場所が確保できる対策をすることは急務です。科学技術の改革向上対策は激しい国際競争の中で勝ち抜く必須の条件です。人口減少社会で医療や介護・年金など社会福祉政策は社会の安定のためにその設計の点検が必要で

社会の実情をしっかりと見つめ安全に働くことと安心して生活することを実現するため今年も力を合わせ頑張りましょう。

皆様のご健勝を祈念しご挨拶いたします。

ならないことは、日本の経済に活力を与え、働く職場を元気にしていくことです。その方法のひとつとして、私たちの電機産業を活性化させることが重要であり、国策として産業インフラコストを抑えるなど、海外の競争相手と同等の条件で戦える環境整備を行うことが必要だと考えています。さらに、電機連合加盟組合の事業は本当に裾野が広く、それぞれ特徴がある高い技術を持たれており、成長できる事業領域はたくさんあると感じました。日本の成長戦略として位置付けられるスマートコミュニティの構築など、日本の強みを活かした取り組みを進めることによって、事業領域拡大や各分野の融合などを促すこと、加えて、電機産業への積極的な投資により国内外での事業発展を進め、国際社会・経済の発展に貢献し、国際協調行動に大きな役割を果たしていくことで、大変厳しい状況にある日本の電機産業の活性化を図っていくと共に、雇用の安定、創出に繋げていきたいと思ひます。

私はみなさんの生活の安心づくりに向けて、全力で頑張っていきます。

ぜひ、「石上としお」を国政の場に送り出していただき、電機産業を活性化させる仕事を担わせていただきたいと思います。みなさんの最後までのご支援とご協力を心からお願いいたします。

電機連合の **けんこう共済** がお手伝い

制度改定  
**ガン特約の新設**  
ガンと診断確定されたとき  
一時金 **200万円**をお支払い

増やそう安心!!  
減らそう掛金

保険の見直しで

掛金が割安にもかかわらず、  
幅広く手厚い補償

- 自宅療養でも給付(休業補償)
- ガンに手厚い補償
- 入院は初日から365日分までの支払い
- 日常生活やレジャーにも安心な特約

●お問い合わせは 電機連合 福祉共済センター 0120-04-6488

今も楽しく、  
未来も楽しく。  
見つめてみよう、  
セカンドライフ!

募集強化月間です

電機連合の  
**ねんきん共済**

若い人には、  
マネープランにも最適!!

お役に立っています。  
あなたのライフプランへの  
確かな手ごたえ。将来の  
備えはもとより、低金利  
時代に、マネープラン  
としても最善の制度。

加入申し込みは組合窓口へ

●お問い合わせは 電機連合 福祉共済センター 0120-10-6911



## 電機連合 中国・四国ブロック 2012年度 ユニオンセミナーを開催

2012年11月16日(金)～17日(土)に「岡山アークホテル」において電機連合 中国・四国ブロック 2012年度のユニオンセミナーを開催しました。中国・四国ブロックエリア9県におよぶ各拠点の加盟組合から執行役員・職場委員44名が参加し、電機連合運動の理解を深めるとともに、グループ討議等で交流・情報交換をしました。

講義Ⅰでは「電機産業に関わる政策制度課題と私たちの見解」をテーマに電機連合・矢木孝幸書記次長を講師に電機連合としての政策制度の取り組みと産業政策活動による国民生活の向上と日本経済の活性化に貢献する重要な取り組みであることをお話しいただきました。講義Ⅱは「歴史と人と経験から学んだリーダーとしての心の持ち方」と題して、前電機連合書記長の泉田和洋氏に講演いただきました。温故知新（古きを知り新しきを創る）を目的に泉田氏の経験による組織運営やリーダーとしての役割についてお話をいただきました。その日の最後の講師に電機連合組織内公認候補の石上としお氏から現在掲げている4つの政策について熱く語っていただきました。2日目の講演Ⅲでは、電機連合本部・野中孝泰副中央執行委員長から「労働組合と政治活動の関わりについて」を表題に講演いただきました。電機産業を取り巻く情勢認識から、人口減少時代で発生する課題を丁寧に説明いただき、電機連合が実践している政策制度協議を含め、産別運動と単組運動の連携強化の必要性を語っていただきました。講義Ⅳでは、「2013年総合労働条件改善闘争」に向けて電機連合本部・萩原文隆中央執行委員長から講演いただきました。

毎年開催するユニオンセミナーですが、今年度は各組合の改選期でもあり、新顔の役員さんが多く感じられました。産別運動の理解と役員相互の情報交換を目的にしているセミナーとして、グループ討議では、和気あいあいな仲間意識の醸成が図られたセミナーとなりました。



## 電機連合 中国・四国ブロック 政治研修会を開催

2012年11月30日(金)に香川県「ホテルサンルート瀬戸大橋」において電機連合 中国・四国ブロック 政治研修会を開催し39名が参加しました。

「何故、労働組合が企業の中だけでなく、企業外の政治活動に取り組むのか？」この疑問を持たれている役員も少なくありません。ましてや、組合員さんの視線からは政治活動が選挙活動だけに偏った理解がされています。今回の研修会では、組合役員の政治活動に対する基本的な理解を深めて活動推進を図っていただくことを目的に開催しました。講演は、富士社会教育センターから大江一郎氏による「労働組合と政治活動」をテーマにお話しをいただきました。労働組合の役割として労働条件の維持・向上を図ることが1つの目的です。その労働条件を改善するために、企業内での労使協議には限界があります。身近な例としては、給料明細書での控除内容を見ると、所得税や社会保険（健康保険・介護保険・厚生年金保険・雇用保険）等が自動的に控除されています。これらの税制や社会保障制度は私たち働く者としては負担が軽いほうが可処分所得が増える。また、電機産業の発展のためには金融政策や経済政策等の法制整備が必要です。これらの課題を解決するための産業政策・社会政策を実現するために電機連合では、各政党や省庁との政策協議に取り組んでいる現状を報告すると共に、その流れを推進する各級議員を増やす取り組みの重要性を理解していただいた研修会でした。

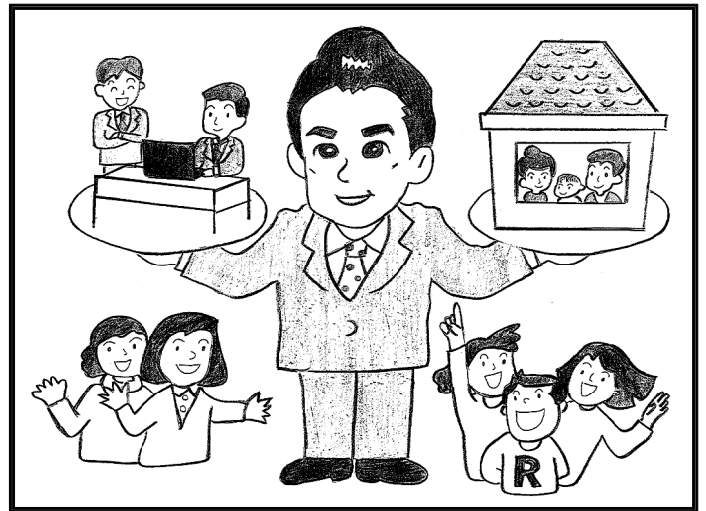
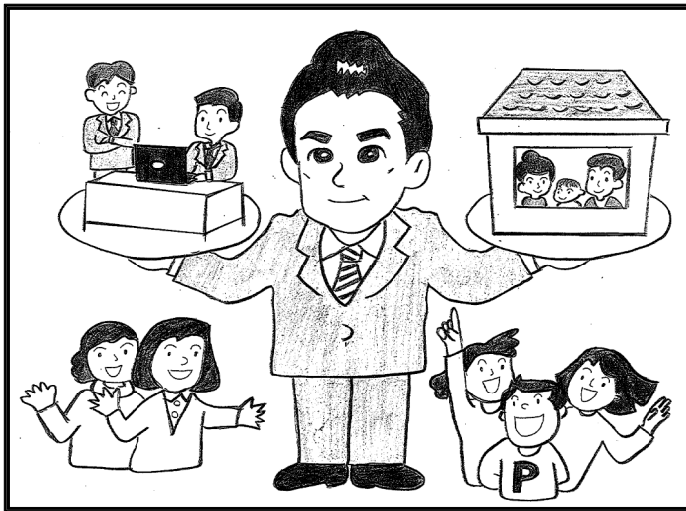


# お年玉クイズ



2013年 明けましておめでとうございます。  
 新年を迎えて改めて、私たちが安心して働き、安定した生活を送るためには、景気の回復をはじめ年金・医療などの社会保障や税制などについて、国政への働きかけを強め、私たちの意見を反映した社会のしくみを作っていく必要があります。  
 電機連合では、その代表者として「石上としお」を組織内公認候補として支援活動に取り組んでいます。「石上としお」の目指す社会像をイラストにしました。左右のイラストに間違い探しクイズをお届けします。

間違いは、全部で6箇所あります。かすれ・汚れは違いますよ。  
 正解者の中から抽選で図書カード(1,000円)を30名の方に進呈します。



## 【応募要領】

- ★ 応募用紙に必要事項をご記入の上、下記宛先まで郵便・FAXにてお送りください。
- ★ 当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- ★ 応募締切 2013年2月20日(水)

◀宛先▶ 電機連合東四国地方協議会  
 〒763-8516  
 香川県丸亀市蓬萊町8番地  
 FAX 0877-24-7596



## 【応募用紙】

答え

所属組合名

職場課名

氏名

## レオマフレンドクラブ会員専用ID、パスワードのご案内

この度、NEWレオマワールドでは、ホームページにてフレンドクラブ会員専用のバーナを設け、イベント案内をはじめ、ホテルレオマの森のお得な情報をいち早くご覧いただけるページを開設しました。つきましては、専用ID、パスワードをご案内しますのでご活用ください。

NEWレオマワールド トップページ

NEWレオマワールド フレンドクラブ会員ページ



レオマホームページ  
<http://www.newreomaworld.com/>

団体名	ID	パスワード
電機連合東四国地方協議会	010114	re7959den



# 石上としおの政策

## 4つのチャレンジ

### 《チャレンジ1》 電機産業の活性化による「働く職場の元気づくり」

わたしたちが安心して生活するためには、雇用の維持・安定が不可欠です。そのためには、電機産業を含めた国内産業の持続的な発展が必要であり、産業の競争力強化、つまり、グローバル市場で戦える高付加価値の製品やサービスを提供する力を付ける必要があります。また、日本国内の雇用を守るためには、日本国内で研究開発し、生産するメリットを創造することが必要です。

国内産業の空洞化に立ち向かうために、産業インフラの整備など新たな事業場の立地を支援する政策を推進するとともに、新たな雇用創出に向け、政府が掲げる新成長戦略に沿い、これからの成長分野を担う人材の育成や能力開発施策の強化を求めます。また、労働組合が実施する産業政策の取り組みを積極的に支援し、日本の働く職場の元気づくりに挑戦します。

### 《チャレンジ2》 「仕事と生活の調和」の実現による「家族の絆・笑顔づくり」

わたしたちが、こころの豊かさを実感して暮らすためには、性別や年齢に関わらず一人ひとりが自らに合った生き方と働き方ができるような、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）をはかることができる社会の実現が求められます。

今、日本では、30代の男性の5人に1人は週60時間以上働いており、家族と過ごす時間が少ないだけでなく、長時間労働により「こころとからだの健康」に不安を抱えながら働いています。また、共働き家庭や単身者の増加に伴い、育児や介護の問題は、働く人々に様々な困難をもたらしています。

労働力人口が減少する中、高齢者も含め、誰もが安心して、働き暮らすことのできる環境の整備は喫緊の課題となっています。

労働時間や育児・介護支援、高齢者や障がい者を含めた安全衛生対策など、職場環境の改善につながるワーク・ルールの整備に関する国の支援強化を求め、わたしたちが安心して働き生活できる社会の実現、家族や周囲との絆・笑顔づくりに挑戦します。

### 《チャレンジ3》 地域ニーズにあったサービスの実現による「地域の安全・安心づくり」

日本はかつてない少子高齢化が進行しています。少子化により地域の産婦人科や小児科の減少、公立校の統廃合が行われるなど、子どもたちが健康で安全に学び・遊ぶことができる環境の維持が課題になっています。また、高齢化の進展は、医療や年金など社会保障制度の安定性を揺るがすとともに、介護問題をますます深刻化させています。このことは、わたしたちにとっても、親の介護や自らの老後の生活への不安につながっています。

持続可能な社会保障制度の改革に取り組むとともに、国から地方への税源と権限の移譲により地方分権を推進することで、それぞれの地域のニーズに合った子育て・教育・医療・介護サービスの実現をめざし、子どもから高齢者までが、いきいきと安心して暮らすことができる、地域の安全・安心づくりに挑戦します。

### 《チャレンジ4》 国際社会の安定に貢献する「地球の未来づくり」

中国、インド、東南アジアをはじめとする新興国では経済が急速に発展しています。これらの国々では経済発展に伴い交通、通信、エネルギー、水資源など社会インフラの整備が進められています。これらの分野は、日本が持つ安全・安心な製品やインフラ整備／制御技術などで大きな貢献ができる分野です。あわせて、日本の企業にとってもビジネスチャンスであり産業の活性化につながります。さらに、日本は開発途上国への援助や地球の気候変動の原因となっている温室効果ガス排出量削減のための国際協調行動に大きな役割を担っています。

日本が先進国の一員として、国際社会の平和と安定、開発途上国の発展にいっそう貢献するとともに、日本が世界に誇る社会インフラ技術や、省エネルギーおよび環境技術によって、世界中の人々が笑顔で暮らせる地球の未来づくりに挑戦します。

電機連合出身  
民主党参議院比例区第13総支部長



いしがみ  
「石上としお」を応援します